

夏の特別展

「ヘビやカエルを好きになる7つの話」 まもなく終了です

7月末にスタートした特別展では、ヘビやカエル、サンショウウオなど、県内で見られる両生類・は虫類を展示しています。身近にすんでいるのにあまり詳しく知る機会のない彼らについて、さまざまな角度からその魅力について紹介しています。

個性的な顔ぶれがそろうなか、ひととき目を引くのがモリアオガエルです。明るいグリーン色の体と大きな目が写真映えるカエルで、来館者から頻繁にカメラを向けられていました。山地に生息し、身近な水田では見かけないことも人気の理由かもしれません。



△モリアオガエル

正直ヘビやカエルは苦手という人も多く、特別展の準備中は、展示を見て「気持ち悪い」と嫌がられるのではないかと心配していました。特にカエルは体がぬるぬるしていたり、水槽の掃除中に顔に向かって飛んできたり、飼育係でも好きになれない部分があったので不安もありましたが、実際に特別展がスタートしてみると、「かわいい」という声が聞こえてきて、そこには真剣に水槽をのぞき込む来館者の姿がありました。展示や解説を通してその魅力が伝わったのではないかと思います。

夏のあいだ大合唱を聞かせていた水田のカエルたちも、9月に入り夜風に秋を感じるころにはその声もだんだん小さくなり、目にする機会が減ってしまいます。

特別展は9月24日(日)までです。水族館でも普段の生活のなかでも、残り少ないカエルの季節を楽しんでいただければと思います。

県内5件（全国最多）を含む日本の山車まつり33件が ユネスコ無形文化遺産に登録されました

問合せ 藤井達吉現代美術館内文化財課 ☎(48)6602

あいち山車まつり日本一協議会

愛知県は「モノづくりあいち」につながる、優れたからくり人形を載せた山車が集中して所在するなど、全国有数の山車まつりが所在する地域であり、県を代表する伝統文化のさらなる保存・継承を図るため、平成27年11月に設立されました。

市においても、市指定文化財である山車やからくり人形、お囃子を保存継承する鶴ヶ崎区山車保存会、大浜中区山車保存会もこの協議会に加盟して、伝統文化の振興に努めています。

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の制度のうち、有形文化財や自然を登録する世界遺産に対し、伝統工芸技術や社会的慣習、儀式および祭礼行事などの無形文化財を登録するもので、昨年12月に日本の「山・鉾・屋台行事」として登録されました。

登録された県内の祭礼行事

- ・尾張津島天王祭（津島市、愛西市）
- ・知立まつり（知立市）
- ・犬山祭（犬山市）
- ・亀崎潮干祭（半田市）
- ・須成祭（蟹江町）

※すべて国指定重要無形民俗文化財です。

10月7日(土)・8日(日)は碧南の山車まつり

●新川鶴ヶ崎区祭礼

玉車という山車がチャラボコ屋台と一緒に地区内を練り歩き、同区の山神社・浅間社の祭礼を盛り上げます。

随所で三番叟人形が演じられ、梶棒の七五三縄を締め直す「棒締め」も披露されます。

とき 10月7日(土) 13時20分～19時ごろ（浅間社発着）、8日(日) 9時～14時30分ごろ（山神社発着）

ところ 名鉄新川町駅周辺



●大浜中区祭礼

中之切車と浦島車の2両の山車が地区内を練り歩き、同区の稲荷社の祭礼を盛り上げます。

随所で三番叟人形と浦島人形が演じられ、稲荷社では乱杭渡り人形も演じられます。

とき 10月7日(土) 17時～20時ごろ（稲荷社発着）、8日(日) 8時～15時ごろ（稲荷社発着）

ところ 名鉄碧南駅周辺

